八王子市消費生活センター／同消費生活啓発推進委員会　NO.157

八王子 くらしのレポート

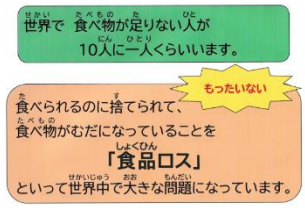
八王子市消費生活啓発推進委員会レポート

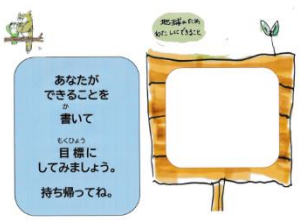
（令和7年）2025 7月

特集　2025八王子環境フェスティバルに出展しました

６月１５日（日）雨が降ったりやんだりの中、東京たま未来メッセにて2025八王子環境フェスティバルが開催されました。
全体では延べ約１３，０００人の来場者でした。
私たちのブースにも、約６００人以上の方々が（体感では約１，０００人）立ち寄ってくださいました。
私たちの２６番ブースは、会場の１番奥の列の中ほどで、来場者が来てくれるかなぁと心配でしたが、周りの他のブースの人気に助けられて、大勢の方が立ち寄ってくださいました。
食品ロス対策について、子ども向けクイズやその対策を紹介するチラシをもとに話し合うことができ、お土産に農産物直売所マップの二次元コード付きのすごろくなどをお渡ししました。

子ども向けクイズ！親子で考えよう





環境フェスティバルには、家族連れが多く訪れますので、親子で考える子ども向けのクイズを２問作りました。
問題は、「消費者庁×うんこドリル　食品ロス」の冊子を参考にアレンジしました。

問題１．いま日本や世界で大きな問題になっていることは何でしょう？
答えＡ：犬やネコが人間の言葉を話すようになった
Ｂ：たくさんの食べ物がむだになっていること

問題２．世界で食べ物が足りない人は何人に一人くらいいるでしょうか？
答えＡ：１０万人に一人くらい
Ｂ：１０人に一人くらい

ＡとＢから答えを選んでもらい、紙をめくるとA⇒×、B⇒〇が出る仕掛けになっていました。
問題２は迷う方が多く、まさかそんなに…、という反応でした。
ご家族で盛り上がってくださいました。
大人の方が多くクイズに挑戦してくださいましたので、来場者に合わせてパネルの高さの調整等が必要と思いました。

そして、食品ロス対策の紹介のチラシの裏面に、あなたの目標記入欄を作ってお渡ししました。
目標を書いて家にはってくださっていると嬉しいです。
終日、大学生のボランティアさんたちも応援に加わってくださり助かりました。

1. 家庭から出る食品ロスの量を「2030年までに約490万トンにまで減らそう」という取り組みとは

　食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。
今回の八王子環境フェスティバルでは、17年ぶりに「食品ロス対策」を市民との対話のテーマにしました。達成目標の約４９０万トンに減ったとしてもまだまだ大量です。
市民の皆さんともっと削減できる工夫を話し合いたかったからというのがその理由です。

食品ロス対策のヒント

食品ロスを減らすときに考えること
- **買いすぎない**
- **作りすぎない**
- **切りすぎない**
- **注文しすぎない**

食べ物の保存するときに考えること
- **一度に食べきる**
- **乾燥させる**
- **冷凍する**
- **分け合う**
- **バトンタッチする**

　A～Hまでの9項目を私たちで話し合い、提案することにしました。
　すでに皆さんが実践していること、気にはなってもまだなこと、他に対策していること、思いはいろいろあると思っています。その色々を一人で終わらせず、知り合いや家族で話し合ってみてくださいませんか。
「一緒に考えようよ」が私たちの思いの原点です。この輪を広げていきたいと思っています。

　去年に引き続き、「SDGs地産地消in八王子すごろく」を配りました。八王子市内に果樹園があると驚く方や、マップに載っているところに行ってみようという家族もいて、うれしい反応でした。
　今年は八王子の農産物直売所マップの二次元コード付きです。
お住いの近くの直売所巡りをしてみたいと喜んでいただきました。

※右の二次元コードから「はちおうじ農産物直売所マップ 第7版」をチェックできます。

※上記チラシとすごろく(色紙ver.)は、消費生活センターで差し上げています。
※八王子市消費生活啓発推進委員会HPにも添付しています。

2. 私たちの食品ロス対策の取り組み

私たちは、市民に対して「家庭から出るごみが増えている。食品ロスも一因になっている」と問題提起しよう、どうしたら減らせるのか市民と一緒に考えようと話しあってきました。2008八王子環境フェスティバルにて「食べ物をむだにしない市民の知恵」のテーマで問いかけ、「～野菜を丸ごと食べよう～」のアンケートに対して500人の方から回答をいただきました（下記の表参照）。

ユーロード西放射線通りで聞き取りをしたのですが、当時大きな反響でした。

野菜のある部分		食べない理由
大根の葉っぱ	⇒	･そもそも買う時についていない(45%) ･食べるところではないので(25%)
キャベツの外葉	⇒	･硬い･苦いから(29%) ･汚い･傷み･変色があるので(26%) ･農薬の影響が心配なため(24%)
大根の皮	⇒	･食べるところではないので(27%) ･硬い･苦いから(25%) ･面倒(10%)、痛みや変色があるため(9%)
キャベツの葉の硬いところ･芯	⇒	･硬い･苦いから(硬いところ80%、芯75%) ･食べるところではないので(硬いところ6%、芯14%)

一方市民の方々から、残さず食べる知恵として、料理方法をたくさん教わりました。また野菜の可食部分に対する考え方は、発想の転換が必要かつ大切ということでした。栄養分がギュッと詰まっているのは、皮や芯や外側部分の方なので、食べる工夫をしてほしいということでした。

私たちは、八王子市の地産地消の取り組みを進めている中で、野菜の生産者や食物の栄養について詳しい方からは是非「**丸ごと食べてほしい**！」声があり、これに応えて私たち消費者が調理法や味付けに工夫して「**丸ごと食べよう**！」という声で答えていくことが必要です。そこに生産者と消費者のコミュニケーションが生まれます。

これからも一緒に考えていきましょう。

また、食べ物をむだにしない知恵もたくさん寄せられました。それは、今回私たちが提案したことと変わりありませんでした。昔から受け継がれてきた知恵だからでしょう。

家庭での生ごみの廃棄量が多いことに着目し、食品ロス対策をしようと市民の皆さんに投げかけてきましたが、子育てで日々の暮らしに追われる年層にはまだまだ浸透していないようにみえます。子育てが大事だからこそ、子どもたちに残したい持続可能な地球と暮らしを守っていきましょう。それが私たちの役割なのです。

食品ロスの問題を 他人事ではなく、我が事として捉えることがまず大切です。
そして、それを減らすことに向けて行動に移すこと。
日々の生活の中でできることを
自分のライフスタイルに合った対策として
一人ひとりが考えて、くらしの中に溶け込ませていくことが必要です。

あなたも参加してみませんか

～八王子市消費生活啓発推進委員会～

私たちのボランティア活動は
「賢い消費者」が目標です。
学びながら市民の皆さんの
お手伝いをしています。

私たち八王子市消費生活啓発推進委員は、
八王子市消費生活センターを拠点にして
活動しています。
詳細は八王子市消費生活センターにお問い
合わせください。

イベント予告

●8/2（土）夏休み親子実験教室「ミルクを変身させよう」　10時半～12時　開催
●2/7（土）第59回八王子市消費生活フェスティバル　11時～16時（最終入場15:30）開催

＜編集後記＞

・上期最大のイベント八王子環境フェスティバルが終了しました。本誌はその特集号ですが大勢の皆さんに来場いただきました。この勢いで秋からの交流フェスタ、月間八王子会場講演会、来年2月の八王子市消費生活フェスティバルなどのイベントにつなげたいものです。（A）

・お米・卵の不足や食品の値上げなど、食べることに対して大変な時代になっています。そんな時期だからこそ、「もったいない！食べ物をむだにしない」の声掛けは来場者に響いたのではないでしょうか。対話は次につながると感じました。（k）

編集発行：八王子市消費生活センター・同消費生活啓発推進委員会

〒192-0082　八王子市東町５－６　クリエイトホール　地下１階
☎042－631－5456　　ＦＡＸ：042－643-0025
＊くらしのレポートにつきご質問・ご意見がありましたら、どうぞお寄せください。

八王子市消費生活
啓発推進委員会HP